



# 雪橇と飛行機

太平鑛業常務取締役

古村

誠

一

寒中北海道に渡り北見の海岸づたいに興部、上興部など云う一寸内地の人には読め相もない驛を過ぎ、オホツツク海の氷原にゆえかえる十三、四日頃の寒月を眺めながらつくづく考えさせられた事である。

東京紐育間、急用とあれば往復十日餘りで用事が足せる世の中、更に急げば電話で打合せさえ出来る云ふスピードな仕事振りを見聞して居る感覚を持つて北見、天鹽方面の鑛山迄出かけると、汽車―連絡船―又汽車と乗り継ぎの都度一時間餘りを空費していよゝゝ最寄りの驛に着けば雪深い原野を馬橇で二、三時間も走らせ漸く鑛山現場に着く。東京から直行しても四十時間以上を要し當に羽田から米大陸迄の距離である。

又本山の所長が管内の支山を見廻るのに、朝早く出かけて馬橇―汽車―又馬橇の便を借り夕刻到着、所用をすませて歸るのに急いでも丸二日ばかりのような場所が多い。其間電話をかけたくも設備がない。電報を打てば遠く旭川經由で誤りだらけの電文に接し結局要領を得難いと云う有様。詩的に觀れば洵に悠長な面も多くて結構かも知れないが斯様な現場で仕事をする者の立場、又事業の經營と云う點から觀れば餘りにもスピードが無さすぎて、東京から北見の國迄は紐育迄よりは遠い處とさえも思われる。

雪が積ればゴム長をはいてボツ／＼歩くより外ない此地方では悠々たるかな天地の心も持たねば安定した生活は出来ぬ。然し事業の經營としては別である。事業現場、運輸、交通々信機關等にも自然を征服する工夫、努力を拂わなければならぬ。鑛山の場合、坑内採鑛現場から撰鑛、積出、海陸の輸送、延いては製鍊所の操業等に到る迄夫々の行程に於て出来る限りピッチを擧げ生産物の流れを迅速快調ならしめなければ其間莫大なる資金の凍結を來し、事業の運営に支障を起し健全なる經營は出来なくなる。

吾々は眞似が上手な國民だとはよく云われるが、ほんとに眞似が上手であるならば、産業を振興し、國民の生活を豊かにし、戦争をすれば最後の勝利を収めて世界の雄となり、銚をおさめれば昨日の敵をも同胞の如くに遇するよな國の仕事振り經營振りをよく眞似したいものである。優秀なる機械、技術の導入大いに賛成であるか事業經營全體に亘り綜合的運営面に於て更に能率化しスピードアップを計る點に付き先進を手本として官民協力改善を要する處が多いと思う。

## 日本鑛業協會誌 (第三卷第四號)

### 四月號目次

(巻頭言)

☆雪橇と飛行機……………古村 誠 一…三

☆米國に於ける鑛山會社

及鑛山の組織……………西脇 親 雄…四

☆新鑛床と富鑛帶は

どうして得られた?…志保井利夫…十

☆アンデス鋼山會社ボトレリロス鑛山

における保安管理…C.プリンカーホッフ…四

▽神岡鑛山機械化報告……………七

▽日本鑛業協會第三回定時總會……………元

◇ニユース……………三

◇資料……………三

### 表紙寫眞

本誌の表紙を飾る寫眞に御協力を得た  
いと思ひます。決して大會社のみに限つて  
わけてはあません。採鑛現場、新しい機械設備等  
で狙いは寫眞的に美しいもの、動きのあるもの、  
重點のはつきりしたものの、あるいは特徴のある鑛  
床、露頭、すぐれた厚生施設も結構です。採否は  
編集部に一任下さい。